

感染症情報 11月27日～12月3日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1295例(堺市	44例)
②溶連菌感染症	504例(堺市	43例)
③RSウイルス感染症	281例(堺市	29例)
④みずぼうそう	126例(堺市	6例)
⑤咽頭結膜熱	100例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 467例(堺市 21例)

が報告された。

感染症報告数は前週比23.4%増の2,617件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、みずぼうそう、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より42%増、堺市で前週の2.4倍であった。溶連菌感染症は府下で前週より24%増、堺市で前週より2%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週比13%増、堺市で12%増であった。定点当たりで見ると、前週が1.2で、今回は1.4であった。みずぼうそうは府下で前週比26%増、堺市で前週3例→今回6例であった。咽頭結膜熱は府下で前週より12%増、堺市で前週3例→今回2例であった。

インフルエンザは府下で前週240例→今回467例で95%増、堺市では前週13例→今回21例となった。定点当たりでは前週が0.8で、今回は1.5となり、流行開始の目安である1.0を超えた。

麻疹や風疹の報告はなかった。